HIGHGEAR®

Highgear, a Division of Implus Footcare, LLC.
2001 T.W. Alexander Drive / Box 13925
Durham, NC 27709-3925

Printed and Produced in PRC.
©2013 Implus Footcare, LLC. All rights reserved.

アクシス-XT
取扱説明書

仕様に関する詳細、技術サポート、保証に関する情報等については、モンベルWEBサイト（www.montbell.jp）をご確認いただくか、または お電話にてお問い合わせください。
モンベル カスタマーサービス：06-6531-3544　フリーコール：0088-22-0031

お買い上げいただいた際には、ディスプレイが表示されていない場合があります。コンパスボタンおよびALTIMETERボタンを同時に押すと、ディスプレイ表示されます。（省電力のため、購入時の動作でディスプレイをオフにすることができます。時計の設定はリセットされません。）

警告および注意

製品をご使用になる前に、必ずこの取扱説明書に記載されている情報をすべてお読みください。

この時計は高性能の精密機器であるとともに全体に念頭に置いていただき、適切なケアとメンテナンスにより、長期間に渡ってご使用いただけます。ただし、不適切なケアや お取り扱いにより、様々なセンサーが損傷し、機能に重要な影響を及ぼすことがあります。

警告：本製品は時刻、スカイダイビング、ハングライダーおよび高度が急に大きく変化する可能性があるその他のスポーツ、または土壌内の温度が急激に変化する状況において、この高度計として使用されるために設計されていません。

警告：本製品は高度なトレーニング／フィットネスツールですべてからなる運動プログラムにおいても、開始する前に健康診断を行い、運動プランについて医師に相談することを強くおすすめします。

水中や、時計が濡れている時にはボタンを決して押さないでください。これにより、時計内部に水を押し入れることになります。

入浴中や熱いシャワーを浴びる時に時計を着用しないでください。高温や湿気によって ゴム製のシールが劣化する恐れがあります。

熱い湯船から冷水に移るなど、急な温度の変化に時計をさらさないでください。これにより、ゴム製のシール部が収縮し、水が時計の内部に浸入する可能性があります。

洗剤を使って石鹸、または研磨剤や、洗剤及び石鹸に含まれるアルカリ成分によって、ゴム製のシール部が損傷する恐れがあります。

時計のクリーニングに溶剤を使用しないでください。溶剤はプラスチックの完全性にダメージを与えます。時計は、軽く湿らせた布で拭いてクリーニングできます。

海水にさらされない ように十分注意してください。海水が付着した場合は塩分をしっかり拭き取ってください。塩分は腐食性が高く、ゴム製のシール部と時計のケースに損傷を与える恐れがあります。

過度の熱や、衝撃、直射日光に時計をさらさないでください。

ガソリンや洗浄溶剤、アセトン、アルコール、虫除け、日焼け止め、その他の化粧品を含む強い化学物質に時計をさらさないでください。時計に損傷を与える恐れがあります。

ベントや水手様の手が届かない場所に時計の着用を保管してください。

電池に関する情報：（本製品はボタン電池CR2032を1個使用）

表示が消えたり、何も表示されない場合（特にバックライトが作動している場合）、計測の不正確な場合は、電池に問題がある、または電池が切れかかっている可能性があります。

- コインを使って、電池のカバーを外してください。 古い電池を取り外し、新品のCR2032型電池に交換してください。電池が正しい極の位置に設置されていることを確認してください。電池のプラス（+）側が見えるように設置します。下側に電池のカバーを元に戻し、 適切にカバーが設置されていることを確認してください。防水機能に影響し、保証が無効になる可能性があります。

注意：ベントやお手様の手が届かない場所に時計の着用を保管してください。

注意：本製品はボタン電池が含まれています。 電池を飲み込んだ場合は、すぐに医師に連絡してください。 身体に深刻な害を及ぼしたり、死に至る可能性があります。

注意：時計の電池には化学物質が含まれています。時計、電池、あらゆる部品は、地域の法律に従って廃棄してください。法律に反した廃棄は環境汚染につながる可能性があります。

注意：電池を火の中に入れないでください。電池が爆発する可能性があります。

注意：この時計に使用されているリチウム電池の種類は、不適切な保管による影響を受けやすい電池です。購入したばかりの新しい電池が、購入前にすでに切れているまたは消耗していることがよくあります。新品の電池で試して問題が解消されない場合は、念のため、別に入手した電池をお試しください。

1.メインモードの操作方法

- メインモードに移るには、モード(MODE)ボタンを押して時刻(TIME)モードを表示させてください。
  対応するボタンを押すと各モードに移行します。

【ALTIMETER（高度計）】>【BAROMETER（気圧計）】>【COMPASS（コンパス）】

[MODE（モード）]ボタンを押すと、[TIME（時刻）]モードになります。

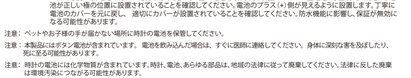
[ALTI（高度計）]ボタンを押すと、[ALTIMETER（高度計）]モードになります。

[BARO（気圧計）]ボタンを押すと、[BAROMETER(気圧計)]モードになります。

[COMP(コンパス)]ボタンを押すと、[COMPASS(コンパス)]モードになります。

どのモードにある場合でも、[LIGHT(ライト)]ボタンを押すと、5秒間画面が明るく照らされます。

[TIME（時間）]モードで[LIGHT（ライト）]ボタンを押し続けると、ボタンロック 機能を有効または無効にできます。 🔒



2.メインモードの操作方法：TIME（時刻）

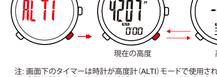
注: 本製品には2つの異なる時間帯(T1/T2)を設定することができます。正確な時刻情報が表示されるよう、「サプモードの操作方法:SETTINGS(設定)」を参照しあらかじめ時刻と日付の設定を行ってください。

T1とT2の切替え：
- モード(MODE)ボタンを押して時刻(TIME)モードに移り、モード(MODE)ボタンを長押ししてT1 とT2 を切り替えます。

3.メインモードの操作方法：ALTIMETER （高度計）

注: 正確な高度計情報が表示されるように、「サプモードの操作方法：SETTINGS(設定)」を参照してください。

- 時刻(TIME) モードで 高度 (ALTI) 計測モードに移ります。



高度計 (ALTI) モードで高度 (ALTI) ボタンを押すと、現在の高度表示から標高差測定に切り替わります。高度差測定は、測定開始時点の高度からの上昇/下降量を表示します。

注: 高度差測定を閉じると上昇／下降差の値はリセットされ、再度高度差測定を開始した時点からまた計測されます。

この機能は、スキー、スノーボードや登山のようなアクティビティ中に高度を見る場合に使用できます。

例: スキーで頂上に到達したら高度差測定を開始し、スキーでは転ぶ場合まで、下に着いたら、下降した高度の数値を確認することができます。

注: 高度測定中は高度計 (ALTI)、気圧計 (BARO) およびコンパス (COMPASS) モードには連動アクセスできません。
モード(MODE)を押して時刻 (TIME) モードに戻ると、メインモードにアクセスできます。

注: 高度の3つのタイマーは時計が高度計 (ALTI) モードで使用された合計時間を表示します。高度計 (ALTI) モードを終了すると、このタイマーは自動的にリセットされます。
※高度計 (ALTI) モードを終了するには、いずれかのボタンを押してください。時計は24時間経つと自動的に時刻 (TIME) モードに戻ります。

高度計記録の操作方法（保存）:

高度計データの記録機能により、手動で最大50のデータファイル、自動で30のデータファイルを記録することができます。
データの閲覧方法は、「サプモードの操作方法:RECORD(保存)」を参照してください。

注: データファイルは先入れ先出し方式で保存されます。
50以上の手動ファイル、または30以上の自動ファイルが記録されると、一番古いファイルから削除されていきます。

手動記録:

データファイルを手動で記録すると、記録時の高度、時間、日付が保存されます。記録されたデータの閲覧方法は、「サプモードの操作方法:RECORD(記録)」を参照してください。

自動記録:

自動記録は活動中に時計が高度計 (ALTI) モードにになっている場合にのみ保存されます。

例: 2時間のハイキングに出かけ、その間の高度データを記録すると仮定します。ハイキングを開始する際、時計が高度計 (ALTI) モードになっていることを確認してください。時計は10分毎に自動的に記録時の時間、日付、最低高度、最高高度、合計上昇高度、合計下降高度を記録します。
ハイキング終了後、モード(MODE)ボタンを押すとデータが保存されます。

注: 時計は10分毎にデータを記録し、最大5時間分のデータ（30の自動記録ファイル）を保存します。
記録されたデータは、「サプモードの操作方法：RECORD(保存)」を参照して閲覧してください。

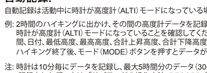
注: 活動時間が5時間以上におよぶ場合、一番古いデータから削除され、新しい記録が保存されます。

注: 上昇／下降高度の合計が99,999 フィート（30,480 メートル）を超えると、自動記録データはゼロにリセットされます。

4.メインモードの操作方法：BAROMETER（気圧計）

気圧計 (BARO)モードでは、気圧・天気・気温が表示されます。

注: 正確な気圧計情報が表示されるように、「サプモードの操作方法:SETTINGS(設定)」を参照してあらかじめ気圧計の設定を行ってください。



- 気温は気圧計 (BARO) モードでのみ表示可能です。
- 気温の計測は体温などに影響ですます。正しい気温を計測する場合は、時計を胸から外し計測に影響を及ぼすおそれのある熱源等から遠ざけて10分程度置いてください。
- 天気予報アイコンは、気圧の変化に基づいてこの先12時間の「予想される」天気を表示します。あくまで予測ですので、最新の情報については定期的に現地の天気予報を確認してください。

5.メインモードの操作方法：COMPASS（コンパス）

注: 正確なコンパス情報が表示されるように、「サプモードの操作方法:SETTINGS(設定)」を参照してコンパスの設定を行ってください。

6.サブモードの操作方法

- 時刻(TIME) モードでモード(MODE)ボタンを押し、サブモードを切り替えます。

サブモードの画面(下図参照):
TIME（時刻）> CHRO（クロノグラフ）> REC（記録）> TMR(タイマー）> UTC（ワールドタイム）> SUN（日の出・日の入り時刻）> SET（設定）

注: サブモード内では高度計 (ALTI)、気圧計 (BARO) およびコンパス (COMPASS) モードには連動アクセスできません。
モード(MODE)を押して時刻 (TIME) モードに戻ると、メインモードにアクセスできます。

7.サブモードの操作方法：CHRONOGRAPH （クロノグラフ）

本製品には、スプリット計測機能付きの100時間クロノグラフが搭載されています。
注: ボタン操作が行われない場合は、60秒後に自動的に時刻 (TIME) モードに戻ります。
- 時刻 (TIME) モードで モード (MODE) ボタンを押して クロノグラフ (CHRO) モードに入ります。

クロノグラフの使用:
- 気圧計 (BARO) ボタンを押してクロノグラフを開始します。
  （「RUN」と画面に表示されます）
- スプリット を行うには、高度計 (ALTI) ボタンを押してください。
  （「SPL」という文字がスプリット時間と共に表示されます）

注: スプリット いか計測後は、スプリット時間が自動的に終了します。
- クロノグラフを停止するには気圧計 (BARO) ボタンを押してください。
  （「STP」と画面に表示されます）
- クロノグラフをリセットするには気圧計 (BARO) ボタンを押してクロノグラフを停止してから
  高度計 (ALTI) ボタンを押してリセットします。
- モード (MODE) ボタンを押してサブモードの中の次のモードに移動してください。

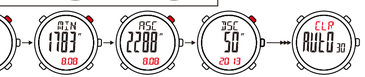
8.サブモードの操作方法：RECORD（記録）高度計記録ブック

注: ボタン操作が行われない場合、60秒経過後に自動的に時刻 (TIME) モードに戻ります。
- 時刻 (TIME) モードでモード (MODE) を押し、記録 (REC) モードに入ります。
- 高度計 (ALTI) または気圧計 (BARO) ボタンを押して手動記録 (MAN) もしくは自動記録(AUTO)を選択し、コンパス (COMP) ボタンを押して決定します。

手動記録(MAN)を選択した場合：高度計 (ALTI) または気圧計 (BARO) ボタンを押して確認したい記録を選び、コンパス (COMP) ボタンを押して決定します。画面上部には記録番号、中央には記録時間、下部には自動的に記録された時刻と日付が交互に表示されます。

- 記録を削除する際は、コンパス (COMP) ボタンを3秒間長押しします。CLR」という文字が画面で点滅します。

自動記録 (AUTO)を選択した場合：高度計 (ALTI) または気圧計 (BARO) ボタンを押して確認したい記録を選び、コンパス (COMP) ボタンを押して決定します。気圧計(BARO)ボタンを押すと、4種類のデータ画面(最大高度、最低高度、上昇高度、下降高度) を切り替えることができます。



記録を削除する際は、画面に「CLR」と表示されるまでコンパス (COMP) ボタンを3秒間長押ししてください。

注: 全ての手動記録・自動記録を削除する際は、画面にMAN(手動)またはAUTO(自動)という文字が表示されている時にコンパス (COMP) ボタンを長押しして ください。「CLR ALL」と画面に表示されます。

9.サブモードの操作方法：TIMER （タイマー）

本製品にはカウントダウンタイマー機能（最長99時間59分59秒）があります。

注: このモードでは、あらかじめ設定した時間のカウントダウンタイマーを実行するができます。
カウントダウンタイマーの時は、サブモードの中の設定 (SETTING) モードで設定する必要があります。

- カウントダウンタイマーを使用（実行）する場合は、時刻 (TIME) モードでモード (MODE) ボタンを押してモードを切り替え、タイマー (TMR) モードに入ります。

タイマーの使用:
- 気圧計 (BARO) ボタンを押してタイマーを開始もしくは一旦停止します。
- カウントダウンタイマーを使用している場合は、「RUN」という文字が画面に表示されます。
- カウントダウンタイマーが一旦停止されると、「STP」という文字が画面に表示されます。

注: タイマーが一旦停止されると、約30秒後に自動的に時刻 (TIME) モードに戻ります。
- タイマーが設定時刻に到達すると、約5秒間アラーム音が鳴り、タイマーは自動的にリセットされます。
- タイマーを一旦停止した後に、手動でリセットしたい場合は、高度計 (ALTI) ボタンを押してください。
- モード (MODE) ボタンを押してサブモードの中の次のモードに移動します。

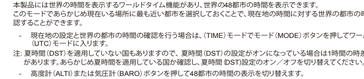
10.サブモードの操作方法：WORLD TIME（ワールドタイム）

本製品には世界の時間を表示するワールドタイム機能があり、世界の48都市の時間を表示できます。
このモードであらかじめ現在いる場所に最も近い都市を選択しておくことで、現在地の時間に対する世界の都市の時間を簡単に確認することができます。

- 現在地の設定と世界の都市の時間の確認を行う場合は、(TIME) モードでモード (MODE) ボタンを押してワールドタイム (UTC) モードに入ります。

注: 夏時間 (DST) を適用していない国もありますので、夏時間 (DST) の設定がオンになっている場合は1時間の時差が生じることがあります。あらかじめ夏時間を適用している国が都市選択し、夏時間 (DST)設定がオン／オフを切り替えます。

- 高度計 (ALTI) または気圧計 (BARO) ボタンを押して48都市の時間の表示を切り替えます。
- 現在いる場所に最も近い都市を選択し、コンパス (COMP) ボタンを長押しすると、選択された都市を基準としてその他の都市の時間を表示させることができます。日本にお住まいの場合は東京 (記号:TYO) に設定してください。



このモードで、現在いる場所に最も近い都市を正しく設定した後に「時刻と日付の設定」を行ってください。
先に「時刻と日付の設定」を行い、その後にワールドタイムの都市の設定を行うと、正確な時間を表示させることができます。「時刻と日付の設定」は、サブモードの中の設定 (SET) モードで行います。

11.サブモードの操作方法:Sunrise/Sunset Times（日の出 / 日没時刻）

世界の48都市の日の出 / 日没の自国の時刻を表示することができます。
- 時刻 (TIME) モードでモード (MODE) を押し、日の出日の入り時刻 (SUN) モードを表示します。

注: 夏時間 (DST) を適用している国もありますので、夏時間 (DST)の設定がオン／オフを切り替えます。
- 高度計 (ALTI) または気圧計 (BARO) ボタンを押して48都市の時間の表示を切り替えます。
- モード (MODE) ボタンを押してサブモードの中の次のモードに移動します。

12.サブモードの操作方法:SETTINGS （設定）

T1/T2の切り替えとワールドタイムの設定以外の全てのモードの設定およびコンパス・高度計・気圧計の補正は設定 (SET) モード内でおいます。
各機能を使用する前に、必ず正確な情報を設定してください。設定した内容が不正確な場合、各機能でのデータの正確性に影響を与えます。

- 時刻 (TIME) モードでモード (MODE) ボタンを押し、設定 (SET) モードに入ります。
- 高度計 (ALTI) または気圧計 (BARO) ボタンを押してどの機能の設定を行うか選択します。選択した設定モードの画面が点滅します。

設定モードの画面（右図参照）:
TIME(時刻)> UNIT(単位)> COMP(コンパス)> BARO(気圧計)> ALTI(高度計)>TMR(タイマー)> ALM(アラーム)

- コンパス (COMP) ボタンを押して設定したいモードに移ります。

①時刻と日付の設定

- 設定 (SET)モードに入り、「TIME（時刻）」が点滅している画面でコンパス (COMP) ボタンを押し、時刻と日付の設定を行います。
- 高度計 (ALTI) または気圧計 (BARO) ボタンを押して数値の変更を行います。
- コンパス (COMP) ボタンを押してその数値を確定させ、次の数値の設定に移ります。
- 全ての数値が設定できると、自動的に設定(SET)モードに戻ります。
- 高度計 (ALTI) ボタンを押して設定値に移るか、モード (MODE) ボタンを押して設定モードを終了し、メインモードの時刻 (TIME) の表示に戻ります。

時刻と日付の設定画面（下図を参照）:
11/12（TIME）とTime2のON切り替え）> DST（夏時間のオン／オフ切り替え）> HR（時間）> MIN（分）> SEC（秒）>
12H/24H（12時間表示と24時間表示の切り替え）> YR（年）> MTH（月）> DAY（日）>
M-D/D-M（月-日の表示順序の切り替え）> KEY（ボタン操作音のオン／オフの切り替え）

このモードで時刻と日付の設定を行う前に、必ずワールドタイムの都市の設定を行ってください。ワールドタイムの都市の設定が完了した時に時刻と日付の設定を行うと、自動的にワールドタイムが正しい時刻に表示されます。
また、ワールドタイムの都市の設定と、時刻と日付の設定を正しく行うと、正確な日の出/日の入り時刻の情報を得ることができます。

②計測単位・表示単位の設定

- 設定(SET)モードに入り、「UNIT」(単位)が点滅している画面でコンパス (COMP) ボタンを押し、単位の設定を行います。

計測単位（表示単位設定画面（右図を参照）:
ALTI（高度計単位の切り替え）>
BARO（気圧計単位の切り替え）>
TEMP（温度計単位の切り替え）

- 高度計 (ALTI) または気圧計 (BARO) ボタンを押して単位の切り替えを行います。
- コンパス (COMP) ボタンを押して次の単位切り替えに移ります。
- 全ての単位が設定できると、自動的に設定(SET)モードに戻ります。
- 高度計 (ALTI) ボタンを押して次の設定値に移るか、モード (MODE) ボタンを押して設定モードを終了し、メインモードの時刻 (TIME) の表示に戻ります。

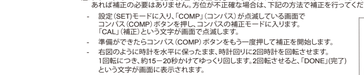
③コンパスの補正

注: アナログのコンパスとも使用し、基本方位を見つけます。デジタルコンパスがコンパスモードにて正確な方位を表示するのであれば補正の必要はありません。方位が不正確な場合は、下記の方法で補正を行ってください。

- 設定 (SET)モードに入り、「COMP」（コンパス）が点滅している画面でコンパス (COMP) ボタンを押し、コンパスの補正モードに入ります。
- 「CAL」（補正）という文字が画面で点滅します。
- 準備ができたらコンパス (COMP) ボタンをもう一度押して補正を開始します。
- 右図のように時計を水平に保ったまま、時計回りに2回時を回転します。
  1回転につき、約15～20秒かけてゆっくり回します。2回転させると、「DONE」(完了) という文字が画面に表示されます。

④磁針偏差の設定

- 引き続き磁針偏差の設定を行う場合は、「COMP」（コンパス）が点滅している画面でコンパス (COMP) ボタンを押し、コンパスの補正モードに入ります。
- 「CAL」（補正）という文字が画面で点滅します。
- 高度計 (ALTI) または気圧計 (BARO) ボタンを押すと、「DEC」（磁針偏差）という文字が画面で点滅します。もう一度コンパス (COMP) ボタンを押して磁針偏差の設定を開始します。
- 高度計 (ALTI) または気圧計 (BARO) ボタンを押して磁針偏差方位 (E/東または W/西) を選択し、コンパス (COMP) ボタンを押して決定します。
- 高度計 (ALTI) または気圧計 (BARO) ボタンを押して磁針偏差の角度を選び、コンパス (COMP) ボタンを押して決定します。
- 磁針偏差の設定を終了する場合は画面に「COMP」(コンパス) と表示されるまでモード (MODE) ボタンを押してください。
  高度計 (ALTI) ボタンを押して次の設定に移るか、モード (MODE) ボタンを押して設定モードを終了し、メインモードの時刻 (TIME) の表示に戻ります。



⑤高度計の補正

- 設定 (SET)モードに入り、「ALTI」(高度計) が点滅している画面でコンパス (COMP) ボタンを押し、高度の設定を行います。

高度の設定画面（右図を参照）: 現在の高度（数値が点滅）

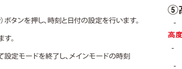
- 高度計 (ALTI) または気圧計 (BARO) ボタンを押して正しい高度の数値に変更します。
- コンパス (COMP) ボタンを押してその数値を確定させます。
- 数値が設定できると、自動的に設定(SET)モードに戻ります。
- 高度計 (ALTI) ボタンを押して次の設定に移るか、モード (MODE) ボタンを押して設定モードを終了し、メインモードの時刻 (TIME) の表示に戻ります。

⑥気圧計の補正

- 設定 (SET)モードに入り、「BARO」(気圧計) が点滅している画面でコンパス (COMP) ボタンを押し、気圧の設定を行います。

気圧の設定画面（下図を参照）:
海面気圧（数値が点滅） > 天気予報アイコン（晴れ、晴れ時々曇り、曇り、雨の4種類のアイコン）

- 高度計 (ALTI) または気圧計 (BARO) ボタンを押して正しい気圧の数値に変更します。
- コンパス (COMP) ボタンを押してその数値を確定させ、天気予報アイコンの設定に移ります。
- 全ての数値が設定できると、自動的に設定(SET)モードに戻ります。
- 高度計 (ALTI) ボタンを押して次の設定に移るか、モード (MODE) ボタンを押して設定モードを終了し、メインモードの時刻 (TIME) の表示に戻ります。



⑦カウントダウンタイマー

- 設定 (SET)モードに入り、「TMR」(カウントダウンタイマー) が点滅している画面でコンパス (COMP) ボタンを押し、カウントダイマーの設定を行います。

カウントダウンタイマーの設定画面（右図を参照）:
(HOURS)> 分 (MINUTES)> 秒 (SECONDS)

- 高度計 (ALTI) または気圧計 (BARO) ボタンを押して設定したい数値に移ります。(時・分・秒の順番に設定)
- コンパス (COMP) ボタンを押してその数値を確定させ、次の設定に移ります。(時・分・秒の順番に設定)
- 全ての数値が設定されると、自動的に設定(SET)モードに戻ります。
- 高度計 (ALTI) ボタンを押して次の設定値に移るか、モード (MODE) ボタンを押して設定モードを終了し、メインモードの時刻 (TIME) の表示に戻ります。

⑧アラーム

本製品は T1／T2それぞれの時間帯に対しアラームを1種類設定することができます。
アラームがオンになっている場合は、毎日設定した時間にアラームが鳴ります。

- 設定 (SET)モードに入り、「ALM」(アラーム) が点滅している画面でコンパス (COMP) ボタンを押し、アラームの設定を行います。

アラームの設定画面（右図を参照）:
AL1 / AL2（アラーム1 / アラーム2）の選択 >
HR(時間) > MIN(分) > ON / - -（オン / オフの選択）

- 高度計 (ALTI) または気圧計 (BARO) ボタンを押してアラーム1かアラーム2のいずれかを選択します。
- コンパス (COMP) ボタンを押して確定させ、次の設定に移ります。(時・分の順番に設定)
- 最後にアラームのオン/オフを選択します。
- 全ての数値が設定されると、自動的に設定(SET)モードに戻ります。
- 高度計 (ALTI) ボタンを押して次の設定値に移るか、モード (MODE) ボタンを押して設定モードを終了し、メインモードの時刻 (TIME) の表示に戻ります。

13.トラブルシューティング

コンパス

地図を確認する際、北は真北を指します。
しかし、コンパスは真北ではなく磁北を指します。
真北と磁北は同じ位置にはいたため、
コンパスで磁針を設定しなければなりません。
磁北と真北の間の角度が偏差です。

高度計 ／ 気圧計

高度計の不正確な測定の原因のほとんどが不適切な気圧計の設定によるものです。この問題を避けるため、気圧は300-1100hPaの間でのみユーザーによる補正が可能です。ただし、時計の計測範囲は300-1100hPaに対応しているため、気圧が下がると300-1100hPa間で適切な数値を表示します。

天気予報アイコンは、気圧の変化に基づいてこの先12時間の「予想される」天気を表示します（例：雨のアイコンが表示されている場合、この先12時間の間に雨が降る可能性が高いことを示します）。これは あくまで予測ですので、最新の情報については定期的に現地の天気予報を確認してください。